

◆◆◆緊急地震速報の一般への提供開始に向けて

＜１０月１日から一般へも提供＞

６月２１日（木）、気象庁は、緊急地震速報の一般への提供を本年１０月１日（月）から開始すると発表しました。

緊急地震速報の一般への提供開始に先立って、気象庁ではこれまでも、講演会やアンケート調査を行い、国民への周知・広報を図ってきましたが、提供開始日が具体化されたことから、今後、お天気フェアや防災フェアなどのイベント等を通じ、更にその周知・広報を推進していくとしています。

＜気象記念フォーラム開催＞

６月１日（金）、「第１３２回気象記念日フォーラム～緊急地震速報を防災に活かす～」が、気象庁と日本放送協会の共催により日本教育会館にて開催されました。また、同会館において、緊急地震速報利用者協議会（事務局：（財）気象業務支援センター）による「緊急地震速報関連機器等の展示会」が同時開催されました。どちらも来場者が多数に上り、緊急地震速報への関心の高さがうかがわれました。



フォーラム開催時の様子



関連機器等の展示会の様子

フォーラムのプログラムのひとつとして、当日放映された広報ビデオ「その時、あなたはこうする！緊急地震速報のしくみと心得」は、緊急地震速報のしくみと心得を分かりやすく解説し、緊急地震速報の普及を図ることを目的に気象庁により企画・制作されたものです。この広報ビデオは、気象庁ホームページからダウンロードできますので、会員のみなさまも是非ご覧ください。

＜認知度に関するアンケート調査＞

６月６日（水）、気象庁は、緊急地震速報の一般向け提供に備え本年５月２５日から３０日にかけて、全国約２,０００人の２０～６９歳の男女を対象に実施したアンケート調査の結果を発表しました。

○認知度

「緊急地震速報という名前を知っている」は３５％、「正確な名前は覚えていないが聞いたことがある」も合わせるとアンケート回答者全体の８４％となっています。

「知っている」または、「聞いたことがある」と回答した人について、情報の内容を正確に理解している人は両回答者の３９％となっています。

○緊急地震速報の利用の心得の理解度

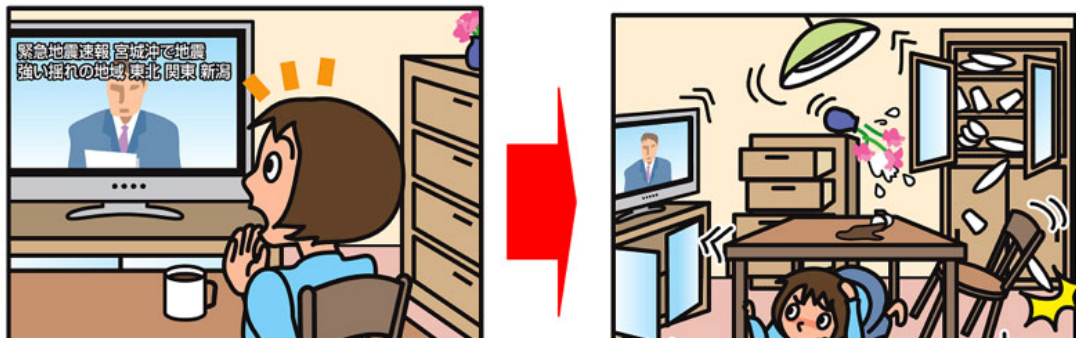
家庭や、集客施設、自動車運転中などの各場面で、緊急地震速報を受けた際の適切な行動についての質問では、集客施設、自動車運転中での行動はどちらも８０％の人が適切な行動を選択していますが、家庭における行動では、「何をさておき火を消す努力をする」が５８％で、行動の心得の基本とされている「頭を保護し、丈夫な机の下などに身を寄せ、慌てて外へ飛び出さない」は３９％でした。

緊急地震速報利用の心得の解説 (気象庁)

「緊急地震速報」は強い揺れがくることをお知らせする情報ですが、「緊急地震速報」をお知らせしてから強い揺れが来るまでの時間は、**数秒から数十秒**しかありません。内陸の浅い地震などの震源の近くでは、「緊急地震速報」でお知らせするより先に強い揺れが来てしまうこともあります。

それでは、「緊急地震速報」を見聞きした時には、どうすれば良いでしょうか。**『周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する。』**ことが全ての基本になりますが、自分がどこにいるのかにより、とるべきことが若干異なります。

家庭においては、頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れ、身の安全を守ることが最も大事です。強い揺れが来るまでの時間は非常に短いので、急いで外に飛び出すことはかえって危険です。料理中でたまたまコンロの前に立っていたら、直ぐに火を消せますが、離れたところにいる場合、無理にコンロへ走っていくと転んでケガをするかもしれませんので、何はさておき、自分の身を守ることを優先して下さい。



人がおおぜいいる施設(デパートなどの集客施設)でも、まずはあわてずに、従業員の指示に従いましょう。従業員から指示がない場合は、身の安全を守るために、頭を保護し、揺れに備えて身構えるなど安全な姿勢をとりましょう。あわてて非常口や出口に殺到することは大変危険です。また、大声で「地震が来るぞ!」と叫ぶことも、混乱を助長することとなるのでやめて下さい。



「緊急地震速報」は、テレビ・ラジオ等を通じてお伝えする予定です。自動車運転中に「緊急地震速報」を聞いた場合に、あわてて急ブレーキを踏み停車すると、「緊急地震速報」を後続の車が聞いていたとは限りませんので、後続の車が追突するおそれがあります。そのため、あわてて急ブレーキはかけずに、ハザードランプを点灯するなどして、まわりの車に注意をうながした後に、緩やかにスピードを落とすことが重要です。大きな揺れを感じたら、できるだけ安全な方法により、道路状況を確認して左側に停止させてください。



詳しくは、[気象庁のホームページ](#)の「[緊急地震速報](#)」の解説ページに掲載している「[緊急地震速報](#)」を見聞きした時はこちらをご覧ください。

<今後の予定>

- ・7～8月 …お天気フェア・防災フェアなど各種イベントの機会を利用した周知・広報の実施
- ・8/30～9/5（防災週間前後） …緊急地震速報を組み込んだ各地の地震防災訓練
- ・9月上旬 …認知度調査（第2回）
- ・10月1日（月） …緊急地震速報の一般への提供開始（予定日）

緊急地震速報の詳細やアンケート調査の詳細は、気象庁ホームページ（<http://www.jma.go.jp>）「緊急地震速報について」のページをご覧ください。また、当センターホームページ（<http://www.jmbc.or.jp>）にも緊急地震速報についてのお知らせ等を掲載しています。